

短期予報解説資料 2026年1月24日15時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

- ① 日本付近は強い冬型の気圧配置が続き、日本海寒帯気団収束帶(JPCZ)が北陸地方を指向。北～西日本日本海側を中心に雷を検知し3時間に5～20cmの降雪を観測。福井県では6時間35cm以上の顕著な大雪を観測。また、全国的に、やや強い風や強い風を観測。しけている所がある。
- ② 500hPa 5100m付近の正渦度極大域に対応した低気圧が宗谷海峡附近をゆっくり南下。別の低気圧が千島近海を東進。一方、低気圧が日本の東を発達しながら東北東進。



2. 主要じょう乱の予想根拠と防災

事項を含む解説上の留意点

- ① 強い冬型の気圧配置は25日にかけて続き、北陸地方を指向しているJPCZは次第に南下し、若狭湾付近を指向する。その後、25日夜までにJPCZは不明瞭化する。500hPa 5280m付近で-36°C以下の寒気を伴うトラフが25日にかけて本州を通過し、500hPa 5100m以下で-45°C以下の寒気を伴う寒冷渦が25日から26日にかけて北海道地方を通過する。500hPaで、北～東日本では-39°C以下、西日本は-33°C前後の平年より5～10°C程度低い上空の強い寒気に覆われ降雪が強まり、日本海側を中心にJPCZや局地的な気圧の谷の影響で短時間に降雪が強まる可能性がある。また、山地や山沿いだけではなく平地や普段雪の少ない太平洋側でも大雪となる所がある。東日本では25日にかけて、大雪による交通障害に警戒。北～西日本では25日にかけて、大雪による交通障害に注意・警戒し、着雪やなだれに注意。JPCZや上空の強い寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となる所がある。北～西日本では25日にかけて、落雷や突風に注意し、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。また、強い冬型の気圧配置の影響で、強い風が吹き、波が高くなる所やしける所がある。北～西日本では25日かけて、強風、風雪、うねりを伴う高波に注意。

- ② 26日は、冬型の気圧配置は西から次第に緩むが、下層の寒気は北～西日本を広く覆う。北～東日本日本海側では26日は、大雪による交通障害、着雪、なだれに注意し、北日本では26日は大雪に注意・警戒。また、冬型の気圧配置の影響で気圧の傾きが急となり、強い風が吹き、しける所や波が高くなる所がある。北～西日本日本海側を中心に26日は、強風、風雪、うねりを伴う高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】

- ① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 降雪量(18時からの24時間)：北陸80、関東甲信・東海70、東北・近畿60、北海道・中国50cm。③ 波浪(明日まで)：伊豆諸島5、北海道・東北・北陸・近畿・中国4、他は広い範囲で3m。

5. 全般気象情報発表の有無 「大雪に関する全般気象情報」を17時頃に発表予定。